

神戸大学都市安全研究センター 平成 27 年度オープンセンター

神戸大学都市安全研究センター発

“みんなで考えよう 安全・安心で快適なまちづくり”

開催速報

平成 27 年度の都市安全研究センターのオープンセンター 神戸大学都市安全研究センター発 “みんなで考えよう 安全・安心で快適なまちづくり” を 27 年 10 月 31 日（土）11:00～17:00 に神戸市役所との共催で、神戸ハーバーランド デュオこうべにて開催した。来訪者数は約 302 名であった。

まず、都市安全研究センター長の北後明彦先生から開催の挨拶があり、都市安全研究センターの組織や活動の紹介と、オープンセンターの趣旨について説明がなされた。



オープンセレモニーの様子



開催挨拶中の北後センター長

次に、ステージでは神戸市住宅都市局による「防災啓発ポスター」の「すまいの耐震化賞」表彰式が行われた。同局建築指導部耐震推進課推進担当係長平山知明氏より「防災啓発ポスター」についての説明と今回受賞された 3 名の方の紹介および受賞作品の講評がなされた。引き続き、当日会場に来ていただいた方に同局建築指導部長の浜田有司氏より表彰状が授与された。

その後、神戸市住宅都市局建築指導部耐震推進課長 矢島利久氏によるミニ講演会“すまいの耐震化 PR「地震に自信ありますか？」”が行われた。阪神大震災当時の被害状況について自身の経験とともに説明された。また、三木の E-defense で行われた実物大試験の様子も交えながら住宅内での家具の固定や住宅の耐震化工事の効果などについて話をされた。実際に、家具が倒れてきてマネキンが下敷きになる様子や、耐震化未施工住宅が完全に倒壊する様子を撮影した動画は観衆には衝撃的で、地震への備えの重要性を確認させられた。市が行っている耐震化支援制度についても懇切丁寧に説明して頂いた。



講演中の矢島氏

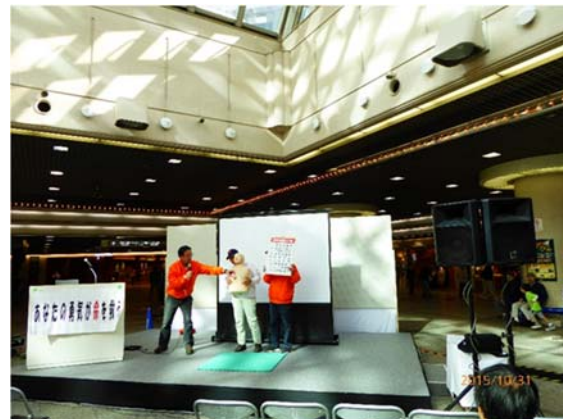


講演中の矢島氏

午後からは、神戸市消防局のボランティアグループ「チーム：TEC 安²」による“あなたの勇気が命を救う～AEDと心肺蘇生法を体験しよう～”と題したミニ講習会が行われた。実際に心肺蘇生が必要な現場に遭遇した場合の手順について、寸劇風の実演に加えて、泰地英雄代表が丁寧な説明を加えており、分かりやすい内容で、心肺蘇生法がより身近なものとなった。



ミニ講習会の様子

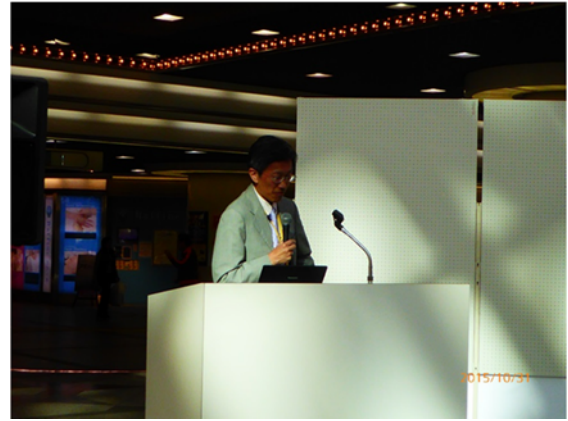


ミニ講習会の様子

また、ミニ教室として、都市安全研究センター長尾 毅教授による“場所毎に違う地震の揺れを評価するには”を開催した。普段の生活では気にすることも少ない地下深くの地盤の堆積環境によって、地震が起こったときの地面の揺れが大きく異なること、場所ごとの揺れ方を地震が起こる前に推定する方法の研究が進められていることなどが説明された。会場からの質問もあり、防災・減災につながる具体案として、参加者も熱心に講演に耳を傾けている様子が伺えた。



講演中の長尾先生



講演中の長尾先生

並行して、会場では様々な実演・体験コーナーが設けられ、神戸市・神戸市住まいの安心支援センター、神戸市消防局の皆さん、教員、院生によるデモや解説が行われた。

様々な角度から撮影した当日の会場の様子を以下で示す。



すまいの耐震化をすすめよう！ by 神戸市・神戸市すまいの安心支援センター



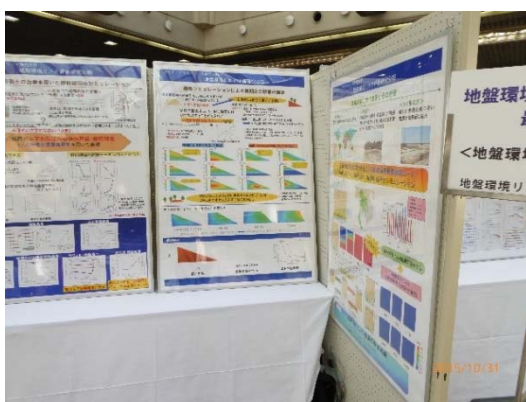
あなたの愛する人を救えますか？ 〈心肺蘇生と AED〉 by 神戸市消防局



学生ボランティア推進の取り組み <足元から被災地まで> by 神戸大学学生ボランティア支援室



活断層の立体視 <活断層を立体的に見てみよう！> by 地震災害リスク評価研究分野



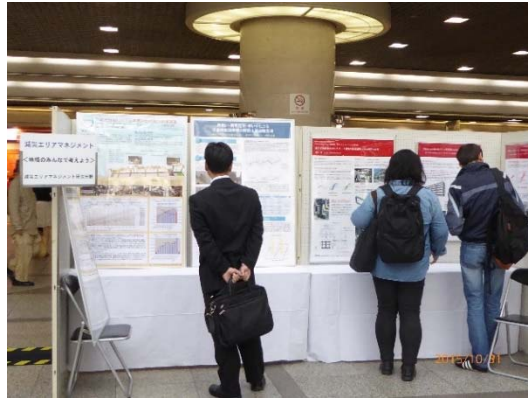
地盤環境リスクの研究の最前線 <地盤環境リスクとは？> by 地盤環境リスク評価研究分野



社会基盤のマネジメントを考える <災害に強い社会を目指して>

～地震による災害と復旧活動を支える道路の維持・高耐久化＞ by 社会基盤マネジメント

研究分野

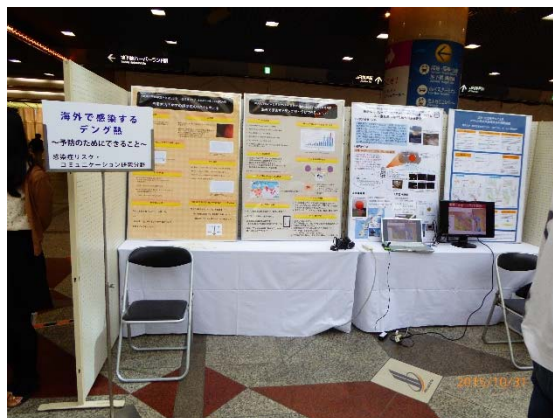


減災エリアマネジメント <地域みんなで考えよう！>

復興過程における減災化 <次の災害に備えていますか？> by 減災エリアマネジメント研究分野



海外で感染するデング熱 ～予防のためにできること～ by 感染症リスク・コミュニケーション研究分野



気象・水文現象の探知と予測<京阪神の洪水災害に備えて安心・安全> by 安全コミュニケーション研究分野



センター紹介パネル展示 <設立趣旨・主な活動・発行物> by 都市安全研究センター